

健診の種類	受診対象年齢	自己負担額
一般健診	35歳～74歳の方	※ ①5,282
子宮頸がん検診（単独受診）*	20歳～38歳の偶数年齢の女性の方	970
一般健診に追加して受診	受診対象年齢	自己負担額
付加健診	一般健診を受診する40/45/50/55/60/65/70歳の方	①+2689
付加健診	一般健診に自費で付加健診を追加する場合	①+ 9,603
半日ドック併用	一般健診と半日ドックを組み合わせ受診する場合	①+21,135
一泊ドック併用（宿泊付）	一般健診と一泊ドックを組み合わせ受診する場合	①+42,735
乳がん検診	40歳～48歳の偶数年齢の女性の方	1,574
	50歳以上の偶数年齢の女性の方	1,013
子宮頸がん検診 *	36歳～74歳の偶数年齢の女性の方	970
肝炎ウイルス検査	過去に検査を受けたことのない方	582

* 協会けんぽ・子宮頸がん検診は内診・細胞診のみです。超音波検査は2,200円で追加いただけます。

※胃検診を胃カメラでお申込みの方は、追加料金2,200円頂きます。

※人間ドック・付加健診をご利用の方は、近隣のお食事処で昼食をご提供または、「ギフト券1,000円分（税込）」をお渡しします。

（予告なく変更になる場合がございますのでご了承ください。）

◇協会けんぽ オプション検査

項 目		検 査 内 容	料 金
頭部MRI検査		脳卒中（脳出血、脳梗塞、くも膜下出血など）や脳腫瘍の検出やリスク発見、特に虚血性の脳卒中である「脳梗塞」の検出力に優れています。頭部CTと比較すると時間がかかりますが、より詳細な検査が可能です。	16,000
CT検査	低線量胸部CT検査	胸部レントゲン写真では、見つけづらい早期の肺がんおよび胸部の異常を見つけます。	11,300
	頭部CT検査	脳梗塞や脳出血など疾患の有無など、頭部の状態を確認する検査です。頭部MRIと比較し、短時間で検査が可能です。	11,300
	腹部CT検査	腹部にある臓器、主に肝臓・胆嚢・膵臓・腎臓・脾臓などを詳しく観察します。腹部超音波検査では見えにくい、深部臓器の描出が可能です。	11,300
	ファットスキャン（内臓脂肪CT検査）	生活習慣病の原因である内臓脂肪の量を調べる検査です。CTでへそ回りの輪切り写真を撮影し、内臓脂肪と皮下脂肪を計測します。	3,300
超音波検査	上腹部	超音波で、肝臓・胆のう・膵臓・脾臓・腎臓を調べます。胆石、ポリープ、のう胞、腫瘍などの限局性病変、脂肪肝、慢性肝炎などのびまん性疾患、各臓器の形態などを観察する検査です。	5,900
	下腹部	超音波で下腹部を調べます。膀胱がん、男性の前立腺疾患の早期発見に有用な検査です。※女性の方は下腹部超音波検査ではなく、経陰超音波検査をおすすめします。	5,900
動脈硬化検査	血圧脈波検査	両手、両足首の4ヶ所の血圧を同時に測定することで血管のしなやかさ（血管年齢）と血管の詰まり具合が分かります。	2,200
	頸動脈超音波検査	心臓から脳へ血液を送る頸動脈の動脈硬化がないかを調べます。動脈硬化によって厚くなった血管やプラーク、血栓などの確認ができます。	3,900
肺機能検査 ※		肺の大きさや息を吐く勢い、酸素を取り込む能力の検査です。COPD（慢性閉塞性肺疾患）の早期発見に有用です。	2,100
腫瘍マーカー（血液検査）	男性1項目	PSA（主に前立腺がんの発見に有用です）	2,200
	男性4項目	CEA、AFP、CA19-9、PSA（主に消化器系、肝臓、膵臓、前立腺がんの発見に有用です）	5,300
	女性4項目	CEA、AFP、CA19-9、CA125（主に消化器系、肝臓、膵臓、卵巣のがんの発見に有用です）	5,300
HbA1c（血液検査）		血液検査により過去1～2ヵ月の血糖値の平均値を調べます。血糖値が気になる方にお勧めの検査です。	660
H.ピロリ抗体検査（血液検査）		胃がんと関連が深いとされている、ピロリ菌の有無を調べます。	900
肺がん喀痰検査		痰の中の細胞成分を顕微鏡でみることで呼吸系の病気を調べます。40歳以上の喫煙者で常時、痰が出る方に特にお勧めです。※専用の容器に3日間痰を採取する必要があります。	2,200
骨粗鬆症検査		超音波で骨量を推定する検査です。	800
NT-proBNP（血液検査）		心不全の検査です。心臓に負担がかかると生産されるホルモンの数値を調べます。	1,500
女性検診	乳がん検診（乳房X線検査）	乳房専用のレントゲン検査です。※40歳以上の方を対象としています。40歳未満に対するマンモグラフィ検査の有効性は認められていません。	6,200
	子宮頸がん検診 ※火曜日のみ	内診、細胞診、超音波検査 細胞診：子宮の入り口の細胞を採取し、がん細胞の有無を調べます。 経陰超音波検査：細胞診と合わせて行うことで、卵巣や子宮の疾患について調べることができます。（痛みはなく検査できます）	4,700

※ 付加健診の検査項目に含まれます。